



農業ひろさき



2024年3月1日 (第217号)
(令和6年3月1日)

編集と発行：弘前市農業委員会

弘前市大字上白銀町1-1 前川本館3階 電話0172-40-7104



令和5年度 農業後継者りんご整枝せん定競技会



競技会の様子

市農業委員会主催の令和5年度農業後継者りんご整枝せん定競技会が1月26日に市りんご公園で開催され、農業後継者がせん定技術と知識を競い合いました。

この競技会は、せん定技術の向上と参加者同士の交流を目的として毎年開催しており、今年は市内在住または市内農地を耕作する生産者8組(3人1組)と個人4人の計28人が参加しました。

競技会に先立ち、花田幸男青森県りんご協会特別講師による模範せん定が行われた後、参加者それぞれに割り当てられた一本の樹をせん定する実技試験と、りんごに関する知識を問う筆記試験が行われました。

また当日は、近年被害が増加している鳥獣被害等について市農林部農村整備課による講話も行われ、参加者は興味深く話を聞いていました。

競技会結果は以下のとおりです(敬称略)

◆弘前市長賞(優勝)

- 団体の部：相馬農業青年の会A
- 個人の部：前田 早瀬(船沢青年部)

◆青森県りんご協会会長賞(準優勝)

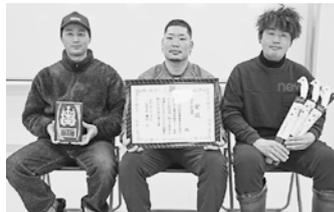
- 団体の部：船沢青年部
- 個人の部：神 翔

◆弘前市農業委員会会長賞(第3位)

- 団体の部：相馬會
- 個人の部：相馬 孝亮(相馬會)



団体の部 第1位



相馬農業青年の会A
中澤 廉、成田 敦郎、長内 拓弥

団体の部 第2位



船沢青年部
前田 早瀬、笹 大樹、花田 陸

団体の部 第3位



相馬會
相馬 翔太、相馬 孝亮、相馬 澄佳

個人の部



優勝 前田 早瀬(中)
準優勝 神 翔(右)
第3位 相馬 孝亮(左)

農業委員会総会・合同研修会開催

市農業委員会(成田繁則会長)は1月24日、農業委員会定例総会を開催しました。農地利用最適化推進委員が傍聴する中、農業委員が農地の権利設定等に関する議案の審議を行い、全議案が可決されました。

総会後には、農業委員と農地利用最適化推進委員合同による研修会が行われ、県農林水産部食の安全・安心推進課職員から、「火傷病」と「本県の野生鳥獣被害の状況と対策」について説明を受けました。

参加した委員は、今後、国内への侵入が懸念される「火傷病」の病原菌が細菌の一種であることなど、生体等に理解を深めるとともに、令和5年に多く発生した「野生鳥獣被害」の状況と対策に強い関心を持って耳を傾けていました。

また、(一社)青森県農業会議職員を講師に「農業者年金の加入推進について」の研修も行われ、制度の理解と当市の現状など改めて確認していました。



研修会の様子

「りんご剪定講習会」を開催しました

弘前市が主催する「りんご剪定講習会」が、1月25日に弘前市りんご公園で開催されました。

この講習会は、剪定技術の早期習得を目的としており、新規就農者や就農希望者など剪定を基礎から学びたい方が79名参加しました。

講習会では、公益財団法人青森県りんご協会の3名(工藤貴久技師、小野充貴技師、千葉一輝技師)を講師として迎え、はじめに剪定の基礎知識などの講義を行いました。

その後の実習では、講師による模範剪定が行われた後、参加者が自ら剪定をしながら、剪定道具の使い方や剪定すべき枝の選び方などを学びました。

また、剪定した枝を燃焼させて炭にする無煙炭化器の実演や、仮想空間でりんごの剪定について学べるりんご剪定VRの体験も行われました。



講習会の様子

地域農業の将来について考える 集落座談会を開催しました



座談会の様子

今年1月から2月にかけて、市内10地区において集落座談会を開催し、その中でワークショップを実施しました。

ワークショップでは、地区内の農業者をはじめ農業協同組合、土地改良区等の関係機関担当者が、地域農業に対してそれぞれの視点から意見を出し合い、労働力不足や野生鳥獣による農作物被害など、様々な課題とその対応策について活発な意見交換が行われました。

なお、ここで話し合われた内容は、地域農業の将来方針(人・農地プラン)に代わり令和6年度までに策定する地域計画の基礎資料として活用され、来年1月に実施する集落座談会において農業者の皆さんにお示しする予定です。

令和6年農作業臨時雇用 標準賃金を決めました

市農業委員会では、令和6年の農作業臨時雇用標準賃金について、下表のとおり決めました。

作業員の臨時雇用や農作業を委託する場合には、農業者の皆さんの目安にしてもらうため毎年設定しているもので、当事者間で賃金を取り決める際の参考としてご利用ください。

作業名		金額(円)	備考	
雇用賃金	田植え	7,200	1日(8時間)当たり まかない抜き	
	稲刈り	7,200		
	整枝せん定	10,000		
	人工授粉	7,200		
	摘花・摘果	7,200		
	袋かけ	7,200		
	除袋・葉とり・収穫	7,200		
農作業一般	7,200			
オペレーター	トラクター	1,100	1時間当たり まかない抜き	
	乗用田植機	1,100		
	コンバイン	1,200		
	スピードスプレーヤー	1,100		
請負料金	水田耕起	5,300	10a当たり 機械・運転手付き まかない抜き	
	畑耕起	5,500		
	荒かきのみ (又は、代かきのみ)	4,900		
	荒代かき	6,100		
	田植機	苗なし		6,400
		稚苗付き		19,500
		中苗付き		26,200
	コンバイン	乾燥なし		16,100
		乾燥まで		28,000
	ロールベアラー(糸あり)	4,700		
乾燥機	1,300	1俵当たり(生脱穀)		
スピードスプレーヤー	5,800	1,000ℓ、薬剤費別		

(注)実労働時間は1日当たり8時間を標準とし、超過した場合は時間当たりで換算してください。

※参考 青森県最低賃金は、令和5年10月7日から時給898円に改定されました。

■問い合わせ先 農業委員会総務係(市役所前川本館3階)
☎40-7104

お問い合わせは農業委員会もしくはお近くの農協で!

農業者年金は節税も、途中加入・脱退、再加入も可能！

『パワーアップ！弘前産りんごPRキャラバン』

弘前りんごの会（会長・櫻田宏市長）では、昨年10月から「パワーアップ！弘前産りんごPRキャラバン2023」を実施し、弘前産りんごの魅力を全国に発信しました。

令和5年度は13エリアにおいて、スーパーで弘前産りんごを販売する「アップルウィーク」を実施し、令和5年産りんごのおいしさを多くの消費者に伝えるとともに、「りんごのまち弘前」の知名度アップに繋げ、弘前産りんごの消費拡大に努めました。



キャンペーンガール りんご娘

弘前市土地改良事業等補助金について

農村整備課では、下表の補助事業を実施しております。下表に記載されている補助事業の詳しい内容を知りたい方、事業の活用をお考えの方は、問い合わせ先へご連絡ください。



事業名	主な事業内容	主な採択基準	補助率
かんがい排水事業	農業用排水路などの新設または改修事業	・受益面積20㌦以上 ・事業費10万円以上	50%以内
小規模農道整備事業	農道等に舗装（コンクリートまたはアスファルト）を行う事業	・受益面積20㌦以上 ・延長50㌦以上 ・幅員2㌦以上	55%以内
	農道等の舗装補修を行う事業（穴埋めなどの簡易な補修は除く。）	・受益面積20㌦以上 ・事業費10万円以上 ・幅員2㌦以上	45%以内
	農道に砂利を敷く事業	・受益面積20㌦以上 ・厚さ10㌦以上 ・幅員2㌦以上	35%以内
農業用安全施設整備事業	農業用施設で転落事故などの危険性が高い箇所に安全施設を設置する事業	・受益面積20㌦以上 ・事業費10万円以上	40%以内

※左記各種事業の補助対象者
(1) 土地改良区 (2) 農業協同組合 (3) 共同施行者 (当該事業を共同で行う、数人の者で構成)

■問い合わせ先
農村整備課農村整備係
(市役所前川本館3階)
☎40-2955

令和6年度弘前市農作業省力化・効率化対策事業費補助金

市では、農業者が農作業の省力化・効率化を図るための取組を支援します。

- ◆公募期間 3月14日（木）～4月12日（金）
- ◆対象者 市内農業者、市内に本店を有する農地所有適格法人、市内農業者等で組織する団体
- ◆事業内容と補助対象経費
 - ①農業機械導入…農業経営に要する機械の導入にかかる経費
 - ②農業用ハウス整備…農業用ハウスの整備にかかる経費
 - ③集出荷環境整備…ほ場内での荷さばき場や作業道の整備にかかる経費
- ◆補助率・補助上限額

補助対象経費の実支出額（税抜き）の3分の1に相当する額以内（上限…①・②＝50万円／③＝23万円）

※【優遇措置】認定新規就農者および一定の要件を満たして令和5年度中に園地継承円滑化システムを活用し園地を継承した受け手については、補助対象経費の実支出額（税抜き）の2分の1に相当する額以内（上限額…①・②＝100万円／③＝40万円）

- ◆その他 項目（認定農業者等、認定新規就農者、青色申告を実施している者、収入保険制度加入者ほか）ごとにポイントを設定し、より多くのポイントを獲得した応募者から採択します。提出書類及び詳しい要件などについては、お問い合わせください。
- ※本内容は令和6年度予算案に基づくものであり、予算の成立をもって実施することとなりますので、今後内容等に変更が生じる場合があります。
- ※令和6年度から新たに水田農業に利用するスマート農業機械の導入経費の一部を支援する予定です。詳細については後日改めてお知らせします。

- 問い合わせ・応募先 農政課（市役所前川本館3階）
- ①③の事業については 農地支援係 ☎40-0656
- ②の事業については 農産係 ☎40-0504



「雇用就農資金」事業説明会

全国農業会議所では、原則49歳以下の就農希望者を新たに雇用し、通年で農業就業又は独立就農に必要な技術・経営ノウハウ等を習得させるための研修を実施する農業者等に対して、「雇用就農資金」を交付しています。

令和6年度事業の第1回募集に向けて事業説明会を開催します。個別相談も受け付けますので、雇用就農資金の活用を検討している方は、ぜひご参加ください。

- ◆対象 「雇用就農資金」の活用を検討している方
- ◆日時 3月13日(水)午後2時
- ◆場所 弘前市役所岩木庁舎2階 会議室2
- ◆内容 雇用就農資金の説明など
- ◆定員 15名
- ◆申込期限 3月8日(金)
※事前申込みが必要です。
- ◆参加費 無料
- 問い合わせ先 農政課担い手育成係(市役所前川本館3階) ☎40-0767



Webページ

農福&援農セミナーの開催

- ◆日時 3月12日(火)午後1時30分～午後4時
- ◆場所 ヒロロ4階 市民文化交流館ホール(駅前町9-20)
- ◆内容 【第1部】農福セミナー(午後1時30分)
 - ・農福連携の取組について
 - ・特別支援学校生徒等による農作業体験について
 【第2部】援農セミナー(午後2時40分)
 - ・企業等による援農活動について
 - ・ひろさき縁農サポーター認定制度について
 - ・法人向けデイワークについて
- ◆定員 100名
- ◆対象者 農業者及び福祉関係者、学校関係者、地元企業等
- ◆参加費 無料
- ◆申込方法 3月8日(金)までに農政課へお申し込みください。

※当日参加も可能です。

※定員に達した場合はお断りさせていただきます。

- 問い合わせ先 農政課地域経営係(市役所前川本館3階) ☎40-7102
Eメール nousei@city.hirosaki.lg.jp

りんごの落葉を収集・処理して病害虫防除!

おいしいりんごの安定生産のために、特に防除を徹底すべき重要病害虫は約20種類ありますが、そのうち、右記の5種類の病害虫がりんごの落葉に潜んで冬越ししていることが分かっています。

- 1 黒星病
- 2 黒点病
- 3 斑点落葉病
- 4 褐斑病
- 5 キンモンホソガ

これまでに落葉を収集して、土中に深く埋めたり、園外に持ち出すことで、黒星病の発生が少なくなる効果が確認されています。また、落葉に潜んで越冬する褐斑病等の発生も抑えることが期待できます。

落葉の収集等に適した時期は、落葉後から積雪前までの期間または雪解け後から発芽・展葉頃までの期間と短く、熊手などを使った手作業では多大な時間と労働力が必要となりますが、機械メーカーとりんご研究所等が共同開発した「落葉収集機」(定価:税込326,700円)を使用すると、短時間で収集することができます。

中南地域県民局が実施した調査では、落葉収集機をけん引した乗用草刈機で園地内を3周程度走行することで地面に張り付いたほとんどの落葉を収集することができ、費やした時間は手作業の30分の1程度でした。



落葉収集機(青森県産業技術センターりんご研究所提供)

昨年、黒星病や褐斑病等の病害虫の発生がみられた園地では、取り組みやすい方法で、積極的に落葉収集処理を行い、本年の病害虫の初期発生を減らすようにしましょう。

- 問い合わせ先 青森県中南地域県民局地域農林水産部 農業普及振興室 ☎33-2903

農振除外申出4月30日締切

農地転用、その前に・・・

市では、農業振興のために利用・保全すべき土地を、『農用地区域』として設定しています。

この区域内の農用地を住宅用地や農業用施設用地(倉庫、資材置き場など)といった耕作以外の目的で使用する場合は、市が設定している区域から除外するなどの手続きが必要となります。

4月30日を過ぎますと、次回分は、7月31日が締切となる予定です。農振除外の手続きは、申出締切から約6ヶ月以上の期間を要しますので、早期の事業着工を予定している方はあらかじめご留意ください。

なお、受付・相談は、農用地の所在する各地区の担当課窓口で行っています。

- 問い合わせ先
 - 【弘前地区】農政課農地支援係(市役所前川本館3階) ☎40-0656
 - 【岩木地区】総務課農林係(岩木庁舎1階) ☎82-1621
 - 【相馬地区】総務課農林係(相馬庁舎1階) ☎84-2111